

総務委員会 県内調査活動状況

1 日 時 平成24年7月24日(火)

2 出席委員(10名)

委員長 望月 勝

副委員長 山田 一功

委員 武川 勉 鈴木 幹夫 石井 脩徳 山下 政樹

永井 学 高木 晴雄 飯島 修 小越 智子

3 調査先及び調査内容

(1) 【山梨県土地開発公社】

○調査内容(主な質疑)

問) たしか企業の方が来年の夏ごろに操業したいと言ったと思うが、新たに6m近くのところから出てきて、操業が間に合うのか。間に合わなかった場合は、損害賠償とかでてくるのか。

答) 間に合う予定である。企業側の方も操業スケジュールが夏から秋ごろに少し延びており、8月中には終わる予定になっており、企業側の操業には、今のところ影響はないと考えている。

問) 大量の廃棄物が深いところからできてきたことで、土壤汚染調査を新たにするとのことであるが、現地を見てないのでわからないが、地下水とか河川とかその土地だけでなく周辺地域の畑とか、そこまで有害なものが出ていっているのではないかと、6mの深さ、まだ下にもあるとなると、非常に心配だが、そこに対しても土壤汚染調査をすべきじゃないかと思うが、その見解は。

答) これまでも水質調査、土壤汚染調査では、基準値を上回る結果はでていない。さらにこの付近のところとか深いところをやるわけであるが、調査結果がでてみないとわからないが、これまでの調査結果によれば、心配することはないのではないかと考えている。

問) 今回と直接関係なく、たまたま資料についていた第1期工事をして、もう既に分譲が終わっているところがあるが、広さが私もイメージ的に見えないが、1期工事のときには、それに類するような、表に出ないような話として、そういうような話は、実際にはなかったのか。

答) 1期工事については、そういった話はない。



質疑終了後、市川三郷町大塚地区拠点工業団地を視察した。

以上